

当団は2015年11月の荻窪音楽祭出演を機に設立、「音楽を軸とした地域コミュニティ」をビジョンに掲げ、楽団に関わる全ての皆さまが楽しめるような「荻窪色」豊かな楽団を目指しています。

今回はフンパーディンクの代表作、歌劇「ヘンゼルとグレーテル」序曲で開幕します。本歌劇初演時の指揮者はリヒャルト・シュトラウス、次に演奏するホルン協奏曲第1番の作曲者です。名ホルン奏者だった父のために書かれた協奏曲で、澁刺とした旋律が森にこだまします。本邦屈指のホルン奏者で、杉並区と友好提携関係にある日本フィルハーモニー交響楽団の首席奏者を務める信末碩才さんが、美しいソロで皆さまを魅了します。

メインはブラームスの交響曲第4番です。古典的要素を用いつつ独創的作曲技法の集大成として、ブラームス自ら最高傑作と認めた名曲です。リヒャルト・シュトラウスも本作品を絶賛、初演ではトライアングルを担当したといわれます。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

荻窪祝祭管弦楽団 代表 小池弘真

PROFILE

Yuji GOTO (Conductor)



©小谷野菜月

後藤悠仁 指揮

北海道妹背牛町出身。東京芸術大学を経て、1986年同大学院を卒業。1985年6月、日本フィルハーモニー交響楽団に入団、2009年まで首席奏者を務める。1993年、京都・北海道にてリサイタルを開催、好評を得る。2001年オペラシティを皮切りに、トッパンホールを経て、2004年より王子ホールにて毎年リサイタルを開催。2015年4月、日本フィルハーモニー交響楽団の常務理事に就任するとともに、ソロ活動を本格的に開始。

ヴィオラ奏者としてリサイタルやオーケストラとの共演、イリス弦楽四重奏団での室内楽等、各地で幅広い演奏活動を行っている。また、指揮者・トレーナーとしてもアマチュアオーケストラの指導など、精力的に活動している。

ヴィオラを中塚良昭、故ウルリッヒ・コッホ、室内楽を故黒沼俊夫、原田幸一郎、故ゲルハルト・ボッセの各氏に師事、指揮を広上淳一氏に師事。現在、東京音楽大学指揮科特別アドバイザーも務める。

荻窪祝祭管弦楽団音楽監督。

後藤悠仁

PROFILE

Sektosshi NOBUSUE (Horn solo)



©Shigeto Imura

信末碩才 ホルン独奏

栃木県小山市出身。12歳よりホルンを始める。春日部共栄高等学校を経て、東京芸術大学を卒業。

ホルンを飯笹浩二、日高剛の各氏に師事。

2017年、第86回日本音楽コンクールホルン部門入選。

2018年、第35回日本管打楽器コンクールホルン部門第3位。

2024年、第73回ARD国際音楽コンクール木管五重奏部門にクインテット樹で出場し、セミファイナリスト及び新曲特別賞を受賞。

現在、日本フィルハーモニー交響楽団首席ホルン奏者。クインテット樹、

A'Blaser Quintet、Horsh、ALEXANDER HORN ENSEMBLE JAPAN、

ぱんだウインドオーケストラの各メンバー。

ドルチェ・ミュージック・アカデミー東京講師。

Nobusue

INFORMATION

※各演奏会詳細につきましては、各演奏会2ヶ月前頃に荻窪祝祭管弦楽団ホームページで広報いたします。

Camerata OFO Concert 2025
2025年9月20日(土) 14:00開演
三鷹市公会堂 光のホール

指揮：木下淳平
ヴァイオリン独奏：岩根 愛

F.メンデルスゾーン：フィンガルの洞窟 op.26
W.A.モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第4番 二長調 K.218「軍隊」
F.J.ハイドン：交響曲104番 二長調 Hob.I:104「ロンドン」

第38回荻窪音楽祭
荻窪祝祭管弦楽団 第19回定期演奏会
2025年11月8日(土) 13:30開演予定
杉並公会堂 大ホール

指揮：後藤悠仁
ヴァイオリン独奏：對馬佳祐
ハーブ：有馬律子

M.ムソルグスキー：交響詩「禿山の一夜」 二短調
M.ブルッフ：スコットランド幻想曲 op.46
L.v.ベートーヴェン：交響曲第3番 変ホ長調 op.55「英雄」

団員募集

荻窪祝祭管弦楽団では一緒に演奏する仲間を募集しています。詳しくは当団ホームページをご確認ください。ご応募お待ちしております。